

関 達治 SEKI, Tatsuji

教授



研究テーマ

微生物の多様性と系統分類

生物工学国際交流センターは、バイオテクノロジーの分野における東南アジアを中心とした教育・研究を推進することをミッションとしています。このミッションを推進するため2002年に、タイ国バンコク市内にあるマヒドン大学理学部内(写真)に研究機材を備えた東南アジア共同研究拠点を開設しました。この拠点は東南アジアとの共同研究に広く開放していますので、皆様のご利用が可能です。また、大阪大学ではバンコク市内に、バンコク教育研究センターを2006年に開設し、タイや東南アジア諸国における研究情報等の提供などを行うよう整備に努めていますので、ご利用下さい。

研究では、東南アジアで期待されている微生物資源の多様性に関する研究を中心に、微生物の系統分類に関する研究を主として推進しています。東南アジアの発酵食品から分離された酵母の多様性、植物の生育に効果が期待されている窒素固定微生物の遺伝子をもとにした分類学的研究などを推進しています。

■ 最近の主な論文

1. Y. Nagatsuka, H. Kawasaki, and T. Seki: *Pichia myanmarensis* sp. nov., a novel cation-tolerant yeast isolated from palm sugar in Myanmar. *Int. J. Syst. Evol. Microbiol.*, **55**, 1379-1382 (2005).
2. T. Sumpradit, S. Limtong, W. Yongmanitchai, H. Kawasaki, and T. Seki: *Tetrapispora namnaonensis* sp. nov., a novel ascomycetous yeast species isolated from forest soil of Nam Nao National Park, Thailand. *Int. J. Syst. Evol. Microbiol.*, **55**, 1735-1738 (2005).
3. J. Enkh-Amgalan, H. Kawasaki, and T. Seki: Molecular evolution of the *nif* gene cluster carrying *nifH₁* & *nifH₂* genes in the gram-positive phototrophic bacterium *Heliobacterium chlorum*. *Int. J. Syst. Evol. Microbiol.*, **56**, 65-74 (2006).
4. R. Misaki, K. Fujiyama, and T. Seki: Expression of human CMP-N-acetylneuraminic acid synthetase, and CMP-sialic acid transporter in tobacco suspension-cultured cell. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, **339**, 1184-1189 (2006).



大阪大学生物工学国際交流センター応用微生物学分野

工学博士

大阪大学大学院工学研究科醗酵工学専攻修士課程修了 1969年修了

大阪大学工学部助手 1970年

大阪大学工学部附属生物工学国際交流センター助教授 1988年

大阪大学生物工学国際交流センター教授 1997年

大阪大学生物工学国際交流センター長 2003年～

日本放線菌学会会長 2000年～2004年

〒565-0871吹田市山田丘2-1 Tel: 06-6879-7453 Fax: 06-6879-7454

E-mail: seki2(atmark)icb.osaka-u.ac.jp